



## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 トランス・コスモス株式会社  
コード番号 9715 URL <http://www.trans-cosmos.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 奥田 昌孝

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員CFO (氏名) 本田 仁志

四半期報告書提出予定日 平成25年8月5日

TEL 03-4363-1111

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	43,238	9.4	1,741	42.3	1,938	51.6	2,190	78.4
25年3月期第1四半期	39,527	3.5	1,223	△34.6	1,279	△32.9	1,228	△8.7

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 3,528百万円 (210.2%) 25年3月期第1四半期 1,137百万円 (△32.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	53.25	—
25年3月期第1四半期	29.85	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	88,409	55,347	58.7	1,260.42
25年3月期	88,420	53,301	56.4	1,212.44

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 51,856百万円 25年3月期 49,884百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	36.00	36.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期の配当予想は未定であります。

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

当期の連結業績予想につきましては、合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。なお、当該理由等は、【添付資料】P.3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」に記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	48,794,046 株	25年3月期	48,794,046 株
26年3月期1Q	7,651,695 株	25年3月期	7,650,551 株
26年3月期1Q	41,142,783 株	25年3月期1Q	41,144,178 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 【添付資料】

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、政府主導による経済・金融政策により円高是正・株高が進み、輸出の持ち直しや製造業を中心とした企業業績の改善が見られるなど景気回復への期待が高まりました。一方、新興国での経済の減速や長引く欧州債務問題など海外経済の下振れリスクが依然として存在しており、不透明感が残る状況で推移しました。

当社グループの関連する情報サービス業界では、企業のIT投資は緩やかながら回復傾向にあります。経営リソースの最適化、コスト競争力強化、業務改革などITを活用した経営効率の改善に取り組む企業が増加しております。また、EC（電子商取引）などITを活用したダイレクトセールスやビッグデータを活用したマーケティングで商品・サービスの売上拡大を模索する動きも活発化してきており、これら企業ニーズに伴うアウトソーシング需要が拡大しております。

このような状況の下、当社グループは、企業の売上拡大とコスト削減に繋がるアウトソーシングサービスの創出と体制強化、そして次の成長に向けたグローバル事業の推進に努めました。

具体的には、国内では、Google社が提供するデジタルアナリティクスプラットフォームで、より多くのデータ処理や充実したサポートが受けられる「Googleアナリティクス プレミアム」の販売を開始しました。コールセンターサービスやデジタルマーケティングサービスなど既存サービスとの連携を深め、企業のマーケティングプロセスにおけるデータ計測環境・運用スキームの提供と分析コンサルティングを提供していきます。また、分散処理技術を応用したビッグデータの高速解析プラットフォームを開発し、当社グループの専門分析アナリストが膨大なインターネット広告接触履歴データを使って高度なアトリビューション分析を行う「アトリビューション分析サービス」の提供を開始しました。

海外では、アメリカのECアウトソーシング業界大手のPFSSweb, Inc.と資本・業務提携に合意しました。この提携により、欧米市場でのECアウトソーシング事業に本格参入し、日系企業の欧米EC進出を支援していきます。今後さらに中国や韓国などにおいても、ECアウトソーシングサービスの提供範囲の拡大に向けて体制を強化してまいります。

以上の取り組みの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高43,238百万円となり前年同期比9.4%の増収となりました。利益につきましては、売上高の増加および売上総利益率の改善などにより、営業利益は1,741百万円となり前年同期比42.3%の増益、経常利益は1,938百万円となり前年同期比51.6%の増益、四半期純利益は2,190百万円となり前年同期比78.4%の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## (単体サービス)

当社におけるアウトソーシングサービス事業等につきましては、ITサービスの需要拡大やコスト適正化による収益性の改善の影響もあり、売上高は34,987百万円と前年同期比8.2%の増収となり、セグメント利益は1,443百万円と前年同期比72.3%の増益となりました。

## (B to B国内子会社)

B to B国内子会社につきましては、当第1四半期連結会計期間において、一部子会社を連結の範囲から除外した影響や受注が減少したことなどにより、売上高は5,056百万円と前年同期比4.5%の減収となり、セグメント利益は150百万円と前年同期比40.5%の減益となりました。

## (B to B海外子会社)

B to B海外子会社につきましては、韓国事業を中心に、売上高は4,208百万円と前年同期比6.4%の増収となりました。また、急激な円安進行によるオフショア開発事業の採算性の悪化などにより、セグメント利益は110百万円と前年同期比25.9%の減益となりました。

## (B to C子会社)

B to C子会社につきましては、前第4四半期連結会計期間から一部子会社を連結の範囲に含めた影響などにより、売上高は1,545百万円と前年同期比226.0%の増収となり、セグメント損失は1百万円（前年同期はセグメント損失33百万円）となりました。

なお、セグメント損益につきましては、四半期連結損益計算書における営業利益をベースにしております。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて11百万円減少し、88,409百万円となりました。このうち流動資産につきましては、1,272百万円増加し、64,667百万円となりました。これは、係争中であった重要な訴訟事件が和解に至り、流動資産のその他に含めている未収入金が増加したことなどによるものであります。固定資産につきましては、1,284百万円減少し、23,741百万円となりました。これは、関係会社株式の新規取得による増加がありましたが、投資その他の資産のその他に含めていた訴訟仮払金が減少したことなどによるものであります。

また、負債の部につきましては、前連結会計年度末に比べて2,056百万円減少し、33,062百万円となりました。これは訴訟損失引当金の減少や、借入金の返済による減少などであります。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末に比べて2,045百万円増加し、55,347百万円となり、自己資本比率は、58.7%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期については、お客様企業の売上拡大・コスト削減といったニーズに対し、より適合したサービスの創出に注力するとともに、中国、韓国をはじめとしたアジア市場や欧米市場での事業展開を加速させ、前期実績を上回る業績を確保することを目指しております。

なお、当社グループの事業は、あらゆる業種・業界のお客様との取引で成り立っており、変化の激しい経済環境の中、短期的な視点で企業活動の動向を見極めることは大変困難であります。よって、当社グループの平成26年3月期連結業績予想については、合理的な算定ができないため記載しておりません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	34,025	33,461
受取手形及び売掛金	25,760	25,001
有価証券	41	—
商品及び製品	8	69
仕掛品	463	624
貯蔵品	24	24
繰延税金資産	1,505	2,053
その他	1,856	3,719
貸倒引当金	△291	△286
流動資産合計	63,394	64,667
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,283	3,315
工具、器具及び備品(純額)	2,273	2,226
土地	1,157	1,161
その他(純額)	347	430
有形固定資産合計	7,061	7,133
無形固定資産		
のれん	178	191
ソフトウェア	1,050	1,018
その他	418	435
無形固定資産合計	1,647	1,646
投資その他の資産		
投資有価証券	3,581	3,915
関係会社株式	2,801	4,080
その他の関係会社有価証券	88	70
関係会社出資金	1,349	1,352
繰延税金資産	708	330
差入保証金	4,769	4,811
その他	3,239	625
貸倒引当金	△221	△223
投資その他の資産合計	16,317	14,962
固定資産合計	25,026	23,741
資産合計	88,420	88,409

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,177	5,463
短期借入金	575	600
1年内償還予定の社債	570	570
1年内返済予定の長期借入金	5,879	5,383
未払金	3,135	3,162
未払費用	7,179	7,345
未払法人税等	1,245	878
未払消費税等	1,829	1,673
賞与引当金	3,082	4,429
その他	1,312	1,797
流動負債合計	29,986	31,304
固定負債		
社債	20	20
長期借入金	2,000	730
退職給付引当金	158	163
訴訟損失引当金	2,555	449
その他	397	395
固定負債合計	5,132	1,758
負債合計	35,118	33,062
純資産の部		
株主資本		
資本金	29,065	29,065
資本剰余金	20,510	20,510
利益剰余金	17,297	18,007
自己株式	△15,924	△15,925
株主資本合計	50,949	51,657
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	248	857
為替換算調整勘定	△1,314	△658
その他の包括利益累計額合計	△1,065	198
少数株主持分	3,417	3,490
純資産合計	53,301	55,347
負債純資産合計	88,420	88,409

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	39,527	43,238
売上原価	32,959	35,553
売上総利益	6,567	7,685
販売費及び一般管理費	5,344	5,944
営業利益	1,223	1,741
営業外収益		
受取利息	14	14
受取配当金	22	27
持分法による投資利益	90	—
為替差益	—	162
デリバティブ評価益	74	—
その他	108	110
営業外収益合計	311	316
営業外費用		
支払利息	71	34
持分法による投資損失	—	40
為替差損	174	—
その他	8	43
営業外費用合計	255	118
経常利益	1,279	1,938
特別利益		
関係会社株式売却益	1,078	33
訴訟損失引当金戻入額	—	1,064
その他	36	132
特別利益合計	1,114	1,230
特別損失		
減損損失	7	27
持分変動損失	8	—
訴訟損失引当金繰入額	—	442
その他	8	4
特別損失合計	25	474
税金等調整前四半期純利益	2,369	2,695
法人税、住民税及び事業税	488	702
法人税等調整額	601	△234
法人税等合計	1,090	467
少数株主損益調整前四半期純利益	1,278	2,227
少数株主利益	50	36
四半期純利益	1,228	2,190



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,278	2,227
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△666	628
為替換算調整勘定	416	487
持分法適用会社に対する持分相当額	109	185
その他の包括利益合計	△140	1,300
四半期包括利益	1,137	3,528
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,060	3,455
少数株主に係る四半期包括利益	76	72

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	単体 サービス	B to B 国内子会社	B to B 海外子会社	B to C 子会社	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	32,293	2,933	3,827	473	39,527	—	39,527
セグメント間の内部 売上高または振替高	40	2,362	127	0	2,531	△2,531	—
計	32,334	5,295	3,955	474	42,059	△2,531	39,527
セグメント利益 または損失(△)	837	252	149	△33	1,206	17	1,223

(注) 1 セグメント利益または損失(△)の調整額17百万円は、セグメント間取引消去5百万円、のれんの償却額11百万円であります。

2 セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	単体 サービス	B to B 国内子会社	B to B 海外子会社	B to C 子会社	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	34,926	2,714	4,052	1,545	43,238	—	43,238
セグメント間の内部 売上高または振替高	61	2,342	155	—	2,559	△2,559	—
計	34,987	5,056	4,208	1,545	45,797	△2,559	43,238
セグメント利益 または損失(△)	1,443	150	110	△1	1,702	38	1,741

(注) 1 セグメント利益または損失(△)の調整額38百万円は、セグメント間取引消去26百万円、のれんの償却額11百万円であります。

2 セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。